

中津警察署協議会

第2回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年9月25日（月）

第2 出席者

大分県公安委員長
協議会 委員 7名
警察署 署長、副署長、刑事官、総務課長、会計課長、留置管理課長、
生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 11名

第3 議事の概要

- 1 交番見学、逮捕術特別訓練見学
会議に先立ち中津東交番、中津駅交番の施設見学を行い、引き続き当署道場において逮捕術特別訓練の見学を実施した。
- 2 業務説明等
警察署から
 - ・ 本年8月末までの管内概況（刑法犯認知件数、交通事故発生状況等）
 - ・ 7月の豪雨災害における署員の活動状況
 - ・ 当署の働き方改革及び若手警察官育成取組について説明がなされた。
- 3 意見・要望等
 - (1) 委員から、男性警察官の育休に関する質問がなされ、警察署から「育児休暇や育児休業といった制度の周知が進み、本年度、当署の男性警察官が育休を取得しているが、まだ制度を利用する職員は少ない。引き続き署員全体に周知を図り、制度の理解と取得促進を図りたい。」旨の説明がなされた。
 - (2) 委員から、交番視察の感想と勤務環境等に関し「本日の視察により、交番毎の勤務環境が大きく異なることが分かった。職場環境や休暇などの待遇が少しずつ改善されていることについて、現に勤務している人が生の意見を伝えることが、魅力のアピールに繋がるのではないか。」との意見がなされた。
 - (3) 委員から、交番や駐在所が作成する広報紙に関し「警察を身近に感じることができる活動として広報紙の発行があるが、私方を管轄する駐在さんが広報紙を毎月作成して駐在所のカウンターに置いて見に行ったら、非常によくできていた。駐在所だけの掲示ではもったいないので、市報と一緒に回覧するなどすれば、警察行政を身近に感じてもらうことができるのではないか。」旨の意見がなされた。
 - (4) 委員から「警察逮捕術の訓練風景を初めて見て圧倒された。小柄な女性警察官が県民を守るために一生懸命訓練している姿を見て涙が出そうになった。これから警察官を志す子が近くにいたら、背中を押してあげたいと思う。」旨の意見がなされた。
 - (5) 委員から、若者が関係する薬物事犯の検挙状況等に関する質問がなされ、警察署から、「近年の薬物犯罪検挙状況、特に大麻事犯の検挙状況については、『低年齢化』『裾野の広がり』が加速している。その要因として、SNSを介した売買、他の薬物より罪悪感が低い等の理由から、若者が興味本位で手を出しやすい環境になっているものと思われる。」旨の説明がなされた。
 - (6) 委員から、中津駅交番の勤務環境について、「中津駅自体が古い建物であり、様々な点で改善が必要な時期が来ていると感じたが、特に女性勤務員の休憩室はできるだけ施設や調度品を新調し、落ち着いて勤務できる環境を整えてあげて欲しい。」旨の意見がなされた。
 - (7) 委員から、警察活動の手段について、「交番勤務の特性に鑑みて、電動アシスト自転車のような便利な交通用具や暑さ対策の空調服など、先進的な装備を柔軟に配分できれば、より勤務に専念できると思う。」旨の意見がなされた。